

# デビューの前に知っておくこと

村上しいこ

私が最初に書いた童話を披露します。

（あるところにOLの恐竜がいました。今日はイケメンの同僚社員（こちらは人間）とデート。夜は、生け簀割烹のお店に行きました。最初はいい感じでお喋りが弾みます。しかしだんだんと恐竜の本能が目覚めて、彼女は生け簀で泳ぐ魚が気になってきます。そしてとうとう、水槽を逃げ回る魚を素手で捕まえ食べてしまいました。もちろんデイトは失敗）

当時の私は、これが童話だと信じて疑いませんでした。今なら言えます。これはギャグマンガやん、と。

ではどうやって、童話の正しい形を勉強したかここに書きます。まず意識して欲しいのは美しさです。言葉を変えれば「基本」です。たとえばアスリート。陸上でもスケートでもサッカーでも、一流選手の形は見ていて美しいです。いや、アスリートでなくてもお寿司を握る職人さんや、陶芸家がろくろを操る手つきも芸術的です。基本をしつかり

マスターされているからでしょう。

図書館へ行けば、いくらでも手本となる作品があります。私はあまんきみさんや角野栄子さん山下明生さんの作品が好きで、よく読みました。もちろん声に出したりもして。自分の呼吸も大切ですが、読者の息づかさも意識します。そして本当に気に入った作品があれば書き写したりもしました。私が使っているノートは、コクヨの「方眼罫8mm」で、二十字×二十八行。一冊分を推敲したあとパソコンに打ち込めば、だいたい百枚見当の分量になります。そして書き写していると、いいことがあります。

ある日突然、何年も前に書き写した作品を発見し、それを自分のものと勘違いして、「わあ、私こんな凄い童話を書いてたんだ」と、一瞬ですがうれしくなるときがあります（個人差があります）。

そして書くときにもっとも気をつけるのがマナーです。私も最近忙しくて、つい力ずくでストーリーを動かしてし